

## 第6章 2025年度「学術知デジタルライブラリの構築 (X-DiPLAS)」プロジェクト報告

小川有子・澁谷由紀

\*プロジェクトの経緯については2024年度の報告（『百穀社通信』23号第4章）を参照されたい。

調査団が国立民族学博物館に委託した169本のフィルム（計5,851枚）については、昨年度後半から、X-DiPLASプロジェクトスタッフによって、フィルムを1コマずつデジタルカメラで撮影する作業が進められた。2025年9月7日、デジタル化された最終データを収めたポータブルHDDと、『受入資料（写真原板）整理後状態の記録』・『コンタクトシート』の2冊子（X-DiPLAS作成）が、澁谷・小川の自宅に1セットずつ到着した。

<ナンバリングについて>

撮影年・フィルム保管封筒の番号・フィルム保管シート（スリーブ）の番号・フィルムナンバー（コマの上下に付されている数字）

例：1995\_01\_16\_30

1995年撮影の封筒No.1に保管されていたシートNo.16の中のコマNo.30の写真

なお番号は次の通り

1995年：封筒No.1（シートNo.1-26）、封筒No.2（シートNo.1-40）

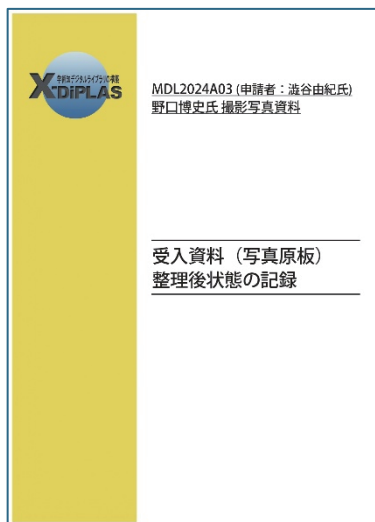
1996年：封筒No.3（シートNo.1-46）

1998年：封筒No.4（シートNo.1-22）

1999年：封筒No.5（シートNo.1-15）

2000年：封筒No.6（シートNo.1-24）

### 『受入資料（写真原板）整理後状態の記録』

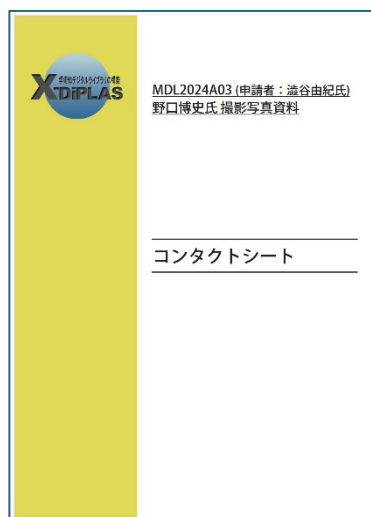


この冊子は、受入資料つまり委託したフィルムを、委託した状態（フィルムシートにフィルムが入った状態）で記録したものである。プロジェクトスタッフがフィルムにナンバリングを行い、ナンバーを記入したシールをフィルムの上部に貼り、フィルムを1シート1ページとして撮影している。

なお、こちらの冊子のナンバーには、冒頭に撮影年が入っていない。

見開きで左右に同じフィルムシートが掲載されており、左側はナンバーがより見やすく、右側は写真がより見やすいように撮影されている。

### 『コンタクトシート』



この冊子は、上の『受入資料（写真原板）整理後状態の記録』にあるフィルムのうち、画像が写っているフィルムのみを写真の状態で記録したものである。撮影年やシートなどで区切られておらず、スペースを空けずに写真は先頭から詰めた形で掲載されている。

こちらの冊子にのナンバーには、冒頭に撮影年が入っている。

HDD 内の写真データと2冊の冊子の受領後は、写真データとコンタクトシートを用いながら、写真のメタデータをエクセル表に記入する作業が進行中である（エクセル表の項目は2024年度の報告を参照のこと）。

入力項目の中で優先順位が高く労力と時間がかかる作業が、キャプション（データベースの一覧画面で写真の下に表示される）と撮影対象物（＝タグ・キーワード）の入力である。

今年度末（2026年2月）より、澁谷・小川の他の調査団員（柳澤・新美・藤倉）にも作業を分担し、月1回行われている定例ミーティングまでに一人50枚のキャプション・撮影対象物を入力し、まずは200枚分のデータベースの完成を目指す。

それぞれの冊子から 1996 年撮影フィルムシート No.4 に該当するページを掲載する。

『受入資料（写真原板）整理後状態の記録』

見開き左側



MDL2024A03 野口博史氏撮影写真資料  
整理後状態の記録

141/347

03\_04

03\_04\_01

03\_04\_02 03\_04\_03 03\_04\_04 03\_04\_05 03\_04\_06 03\_04\_07

03\_04\_08 03\_04\_09 03\_04\_10 03\_04\_11 03\_04\_12 03\_04\_13

03\_04\_14 03\_04\_15 03\_04\_16 03\_04\_17 03\_04\_18 03\_04\_19

03\_04\_20 03\_04\_21 03\_04\_22 03\_04\_23 03\_04\_24 03\_04\_25

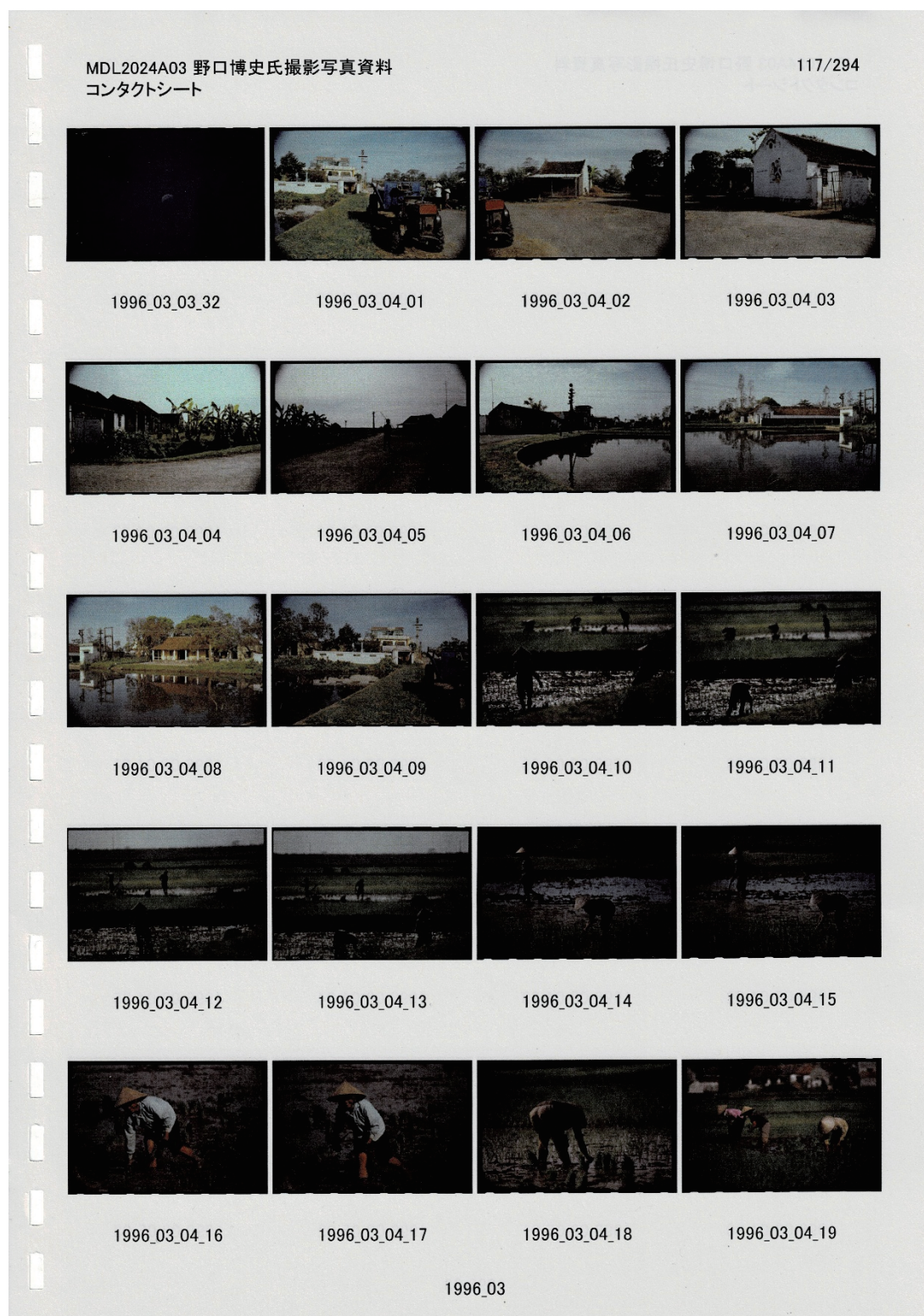
03\_04\_26 03\_04\_27 03\_04\_28 03\_04\_29 03\_04\_30 03\_04\_31

03\_04\_32 03\_04\_33 03\_04\_34 03\_04\_35 03\_04\_36

03\_04film

『コンタクトシート』

最上段左から2枚目より次ページ最下段左から1枚目までがフィルムシート No.4 に  
該当





1996\_03\_04\_20



1996\_03\_04\_21



1996\_03\_04\_22



1996\_03\_04\_23



1996\_03\_04\_24



1996\_03\_04\_25



1996\_03\_04\_26



1996\_03\_04\_27



1996\_03\_04\_28



1996\_03\_04\_29



1996\_03\_04\_30



1996\_03\_04\_31



1996\_03\_04\_32



1996\_03\_04\_33



1996\_03\_04\_34



1996\_03\_04\_35



1996\_03\_04\_36



1996\_03\_05\_01



1996\_03\_05\_02



1996\_03\_05\_03

1996\_03